



えいのまる

令和5年度 一年間大変お世話になりました

いよいよ、来週の月曜日は卒業証書授与式、金曜日は修了式です。

卒業生は、本日金曜日に修了式を行いました。修了式では、ウォルト・ディズニー氏の言葉を送りました。

「どんな夢もそれを追う勇氣さえあれば実現させることができる」という言葉です。

この言葉は、「夢や目標を持つ大切さ」を伝えると同時に、「夢に向かって一歩も踏み出さない人は何も実現できない」という厳しい教えでもあります。だから、私は「一歩踏み出す勇氣」を持ってほしいと願うのです。

これまで子どもたちは、えいスポや、自ら創り出す学習参観、様々なプロジェクトなどで、失敗を恐れないこと、トライ&エラーを合言葉にたくましく歩んできました。みんなで一緒に取り組むことで「勇氣(決断力・実行力)」ある行動ができました。

中学校では、一人一人が自分の進路を決め、進み始めるときです。一人で未来の道を決めること、一歩踏み出すことには勇氣がいます。「どれがよいのかわからない」「笑われるかも」…。でも、頭の中で考えていても時間が過ぎるだけです。まずはやってみる。それから見直してみる。そうした、トライ&エラーを重ねることで素晴らしいものができる、失敗が学びになるという経験を小学校で培ってきたはずで、今後もぜひためらわず、一歩の歩みを進める勇氣を持ち続けてほしいと願います。卒業生に幸あれ！

◎ 令和6年度2学期制決定

市全体の流れを受けて、本校においても2学期制を実施することを決定させていただきました。市教委の認可も下りております。

夏休みや冬休みなど長期の休みの期間は変わりませんが、あゆみの回数を3回から2回に減らし、教師が子どもに接する時間や余裕を増やし、学習補充や語らいなどに当てようとするものです。

成績の締めやカリキュラム進行については、これまで学期ごとに確認していましたが、今後は月ごとに確認を行い、長期の休み前に学力補充と個人懇談会を行います。

詳しい年間行事は、後日配布いたします。

また、カリキュラムオーバーロードの指摘から、毎週金曜日の5校時下校は当分の間継続して行ってまいります。ご理解ご協力をお願いいたします。

◎ 令和6年度の主な行事日程予定

- 4月 8日(月)前期始業式
- 4月25日(木)～5月1日(水)家庭訪問(全員対象)
- 5月25日(土)学習参観・PTA 総会・学級懇談会
- 7月22日(月)～8月25日(日)夏休み
- 9月20日(金)前期終業式
- 9月24日(火)秋休み
- 9月25日(水)後期始業式
- 10月20日(日)えいスポ
- 12月24日(火)～1月7日(火)冬休み
- 3月25日(火)～春休み

◎ 新学年の名札について

これまで販売してきた布製の名札の在庫が、新2年生に限った販売(1年生は色紙による名札であったため)を最後にほぼなくなります。これまでの名札製作の専門業者が製造中止したからです。今後は、名札を印刷した紙の配布に代わります。

なお、透明の名札ケースは50円で販売しておりますので、必要な方は事務室で購入をお願いします。

○ 2月22日(木)おいしいお餅に感謝

PTA会長の西田様、またたくさん地域の有志の方が、朝早くから炊き出しをして、永犬丸小学校の子どもたちのために、6年生と一緒に餅つきをして、ついた餅を全児童に配布していただきました。(もち米代はPTAから寄贈していただいております。ありがとうございます。)

つきたてのお餅は、大変おいしくて、6年生にとっても大変良い思い出となりました。蒸籠(せいろ)で、蒸す様子や餅をつく様子を見ることもよい体験となりました。ありがとうございました。

○ 3月1日(金)お別れ集会

5年生が企画、運営したお別れ集会が行われました。5年生の一人一人が、「よい集会にするぞ」という思いをもって臨んでいたと感ずることができる集会でした。

また、6年生のために、思いを伝えたいという各学年の子どもたちの趣向を凝らした演技も感動的でした。6年生が見えないところで、日々学校のために尽くしてきた姿が、下級生に伝わっていたからだと思います。

そして最後の6年生の歌は、心に響くあまりに美しい合唱で、泣きだす子どももたくさんいました。

3月は、どの学年の児童も、自分の成長を実感するとともに、自分の成長が様々な方々のお蔭であるという感謝の気持ちももてるようになってほしいと思います。

そして、新しい学年への期待感を高め、新たな目標をもてるようになってほしいとも思います。

◎ 春休みの生活について

大変良い季節となり、活動的な春休みになると思います。しかし、最近子どもの交通事故が増えています。飛び出しや自転車による事故が増えています。ぜひ声掛けをお願いします。

また、来年度4月当初には、前学年までの習得に関するチェックテストを行います。春休み期間中を利用して、一年間の復習などにも取り組ませてください。

「家族会議」を開くー子どもと話す機会をつくるー

子育てベスト100 加藤紀子著より

最近では、平日は子どもの習い事や親の仕事の都合で忙しいうえに、ようやく週末に一家がそろっても、各々がスマホやゲームに気を取られ、家族の会話が少なくなってしまいがちです。子どもに話しかけたところで、「知らない」「わからない」「忘れた」といった返事しか返ってこない、なかなか話も弾みません。

こうしたふだんからのコミュニケーション不足は、親子の信頼関係にも影響します。子どもが問題行動を起こすなど困った事態になってから、あわてて本音を聞き出そうとしても、子どもはそう簡単に心を開いてはくれません。

カリフォルニア大学アーバイン校の臨床児童青年心理学者、ロバート・マイヤーズ准教授は、家族の絆を強め、信頼関係を築くために、定期的に「家族会議」を開くことを勧めています。

家族会議を開くと、自分の気持ちを表現するのが得意ではなかった子どもも少しずつ声を出せるようになり、家族に自分の意見を知ってほしいと思えるようになるといいます。

家族会議は、お祝いをしたり、感謝し合ったりするなど、家族一緒に幸福感や楽しさを共有する「チームビルディング」の時間でもあります。

「家族会議」はどうやって開けばいい？

■家族全員が集まれる日時にする

週末の夕食時など、家族みんなが集まれる曜日と時間をあらかじめ決めておきます。1週間に一度できると理想的なのですが、難しい場合は1か月に一度でも集まるとよいでしょう。

■みんなが発言できる質問をする

家族全員が発言できるような質問をします。進行役を子どもにまかせると、子どもは自分が一人前として認められているように感じ、自尊心がアップします。

進行役は、たとえば以下のような質問を投げかけたり、答えをうながしたりします。

- ・今週はどうだった？
- ・来週はどんな予定？
- ・来週の目標は？
- ・家族が私にこんないいことをしてくれた！
- ・私は家族のためにこんないいことを やった！
- ・今度行ってみたいところは？
- ・いま欲しいものは？
- ・そのほか、家族に話したいこと、質問やお願い、ルール決めや休みの計画など

■家事の分担を決める

家族は小さなコミュニティであり、子どもも家族というチームに欠かせない戦力です。家族一人ひとりが何の家事を手伝うか、話し合って分担します。

■書き出す

家族一人ひとりの目標やお手伝い、家族みんなが守りたいルールなど、決まったことを紙やホワイトボードに書き出し、「見える化」します。

■最後には「お楽しみ」を準備しておく

かたくなるしい会にしたり、お説教タイムにしたりしてしまっっては逆効果です。家族同士でケンカをし、家の中に緊張感が漂っているようなときは、外に出て散歩をしながら話すなど、場所を変えてみます。

そして、会議の最後にはみんなが「楽しかった」という気分分で終わられるよう、ゲームや料理、映画など、家族一緒の「お楽しみ」を準備しておくとういでしょう。

家族ってふしぎです。

口には出せないけれど...
お互い大切に思ってる

口には出せないけれど...
期待に応えたいと思ってる

中高生の言葉でてるのは
うせえ - はっ？

しらんし・ぶっ...
せや、悪口雑言...

意外に
本音で話したり弱音はいたり、
シアスな話ができるんです。

だから
小さいうちから
家族会議っていいかも！

会議だったら
ふだん話せないことや
ホントの気持ちが話せるんじゃないかな？

まっ、

